

## 宇治市未来につなぐ都市づくりプランの説明会の開催結果

【日 時】令和5年12月16日(土) 午後2時から 3時40分

【会 場】ゆめりあうじ

【参加者】5人

【主なご意見(まとめ)】

- ① 誘導という言葉については違和感があるという意見
- ② 公共交通の現状認識に関する意見
- ③④ 公民館のあり方に関する意見
- ⑤ 誘導施設の定義を分かりやすくした方が良いという意見
- ⑥ 居住地としての宇治の魅力をアピールすることが重要という意見  
→具体的な区域に関する意見はなかった

【内 容(抜粋)】: 市の考え

- ①「誘導」という言葉に違和感がある。住むところは、自分で選んで土地を買って家を建てて決めたいという思いがあり、居住空間を「誘導」するという表現はいかがなものか。

本プランの都市機能誘導区域や居住誘導区域などの名称については、国のガイドライン等に即して定めています。今後、土地取引をされる場合に、それらの区域について事業者等に確認いただく必要があり、誤解が生じないように全国的に統一されている名称を使用しています。ご意見を踏まえ一部の文言を分かりやすい表現に変更します。

- ②鉄道駅が14駅あるのは事実だが、住んでいる地域や高齢化により移動が困難な人もおり現状として、「公共交通ネットワークが充足しており」という文言は実態とは異なるのではないかと思う。

現状認識としては、市民の皆様をはじめ関係者のご意見を伺い作成した「宇治市公共交通体系基本計画」における公共交通の現状を踏まえた内容で整理しています。市内には鉄道駅が14駅あり、人口の約9割が鉄道駅から1km、バス停留所から400mの範囲内に居住されており、鉄道を中心とした公共交通に恵まれた環境であることからそういった表現にしていますが、関連計画に合わせ丁寧な説明を追記します。

- ③プランの中に「公民館」という表現がない。地域交流の拠点として、公民館をプランの中に入れてほしい。

宇治市では関連部署にてとりまとめております「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」の中で、交流・活動の場づくり、地域のまちづくりの中核となる施設を目指す公共施設として位置づけております。また、本プランでは「公共施設の誘導施設の設定の考え方」にお示ししているとおり、各個別施設計画の整備方針に沿ってとりまとめており、誘導すべき施設として市が設置する地域住民の交流促進のための施設を「地域交流施設」として整理しております。頂いたご意見につきましては、関係部局と情報共有を図ります。

- ④各地域にある公民館を廃止しないでほしい。各地域において、多くの市民が交流を深め、社会教育の場であり、無料で利用できる公民館をなくさないでほしい。

宇治市では関連部署にてとりまとめております「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」の中で「公共施設の更新にあわせて、施設の機能の集約化」を前提に「こどもから高齢者まで幅広い世代が集い学びを行う場」を1つの柱としています。また、「生涯学習審議会」での協議を踏まえ、「生涯学習のあり方」についても市教育委員会で検討しているところです。頂いたご意見につきましては、関係部署と情報共有を図ります。

- ⑤誘導施設で図書館、大学、小中一貫校など、すぐイメージできるものと、抽象的な表現が混じっており、分かりやすく整理してはどうか。

誘導施設の定義について、市民の方に分かりやすくお伝えするため、表現について整理します。

- ⑥空き家対策等を進める中で、居住地としての宇治の魅力をもっとアピールすることが、長期的な視点で人口減少に歯止めをかけることにつながるのではないか。

居住に適した、住みやすいというところをどうアピールするかという部分については、空き家対策など様々な施策を絡めながら検討が必要です。都市計画はまちづくりというハードの部分が大きいですが、市の関係部署のソフト面の施策も含め検討が必要と考えています。